

國學院大學

# 文学塾

第二期

募集案内

平成31年(2019)3月23日(土)開催

対象

高校生

会場

國學院大學 渋谷キャンパス

※先生方もぜひごいっしょにとどうぞ

120周年記念1号館

日本文学

中国文学

歴史学

哲学

外国語・  
外国文化

申込  
スタート

事前申込制

参加  
無料



もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學



# 好きこそ ものの 上手なれ

## 國學院大學文学塾とは・・・

國學院大學文学部が主催する高校生のための新たな学びの場で、今年で2期目の開講となります。伝統ある國學院大學文学部ならではの専門性の高い内容で講義を行い、「もっと深く学びたい」「もっといろいろなことを知りたい」という知的好奇心の強い皆さんの期待に応えます。

今年度は、3月23日（土）に開講し、文学部の5学科に所属する専任教員がそれぞれ3または2講座を行います。好きな学科の講義をすべて受けてもよし、興味のある講義をつまみ食いしてもよし、学問の最先端を、ぜひ体験してください。

## 國學院大學文学部とは・・・

國學院大學文学部は、日本文学科・中国文学科・外国語文化学科・史学科・哲学科の5学科で構成されています。明治15年（1882年）創設の皇典講究所を母体とし、国史、国文、国法を専修する機関として出発した國學院大學135年の歴史と伝統を直接に継承する学部です。日本の文化や歴史に対する知見をもとに、諸外国の言語・文化、歴史、哲学について深く広く学ぶことができます。

## メッセージ

たとえばプロ・アマ問わずにスポーツ選手が「好きだから続けられた」と話したりしますね。では、学問研究の世界ではどうでしょうか。実は同じなのです。なぜ好きなのかと問われたら困るかもしれませんが、好きだから出来た、好きじゃなければ出来ないという気持ちが学者、研究者のこころの中心には必ずあるのです。これが好き、を前提にして喜怒哀楽が積み重なっていくのなら、この人生に悔いはないと思いませんか。

あなたは今の学びのなかでなにが好きですか。その教科書のなかのどこが好きですか。いままで受けてきた授業のどこかに魅力を感じませんでしたか。漠然とした気持ちでいいのです。そのあなたの気持ちの先に光っているものが文学塾できっと見つかります。

文学部の学問のなかに、あなたの宝石があなたに見つけられることを待っています。



文学部長 石川 則夫

専門分野：日本近現代文学／主に大正・昭和の小説・評論

# 日本文学科

日本文学科は、古代から現代に至る日本の文学・言語・風俗習慣・儀礼などの研究を通して日本文化を総合的・体系的にとらえていくとともに、日本人の精神や文化に対する学びが、今を生きる私たちの生や創造の指針となることを目指しています。

國學院大學の日本文学科には日本文学専攻、日本語学専攻、伝承文学専攻の3専攻があります。今回の講義では、『源氏物語』という統一テーマを設け、それぞれの分野からのアプローチを試みます。



## 統一テーマ：『源氏物語』

### テーマ 『源氏物語』、何がそんなにスゴイのか？

山田利博 教授 専門分野：平安朝散文／主に源氏物語

『源氏物語』が世界に誇る日本古典だというのは常識ですし、そのつもりで皆さんも高校の教科書等で学んだでしょう。でも、その結果、何がそんなにスゴイのかということは分かったでしょうか？それを知るには、「読み」のテクニックみたいなものが必要で、大学はそれを学ぶ所です。そこで今回は、多分皆さんも読んだことがあるであろう『源氏物語』の最初・桐壺巻の冒頭を取り上げ、それを大学風に読んでみようと思います。



1時限

10:30~12:00

### テーマ 『源氏物語』を文法的に読む

小田勝 教授 専門分野：日本語学／中古文法

『源氏物語』を正確に読解するためには、どのような知見が必要でしょうか。例えば、若紫巻で光源氏は自分のことを「幼き御後見」と言っていますが、これを「幼い後見人」と解釈すると誤訳になってしまいます。講義の前半では、そのような解釈上の要注意点を説明し、後半では実際に『源氏物語』の一節を取り上げて講読します。「文の組み立てを考えて、すっきりと筋を通して読む」という古典文の読みかたを体験してください。



2時限

12:50~14:20

### テーマ 『源氏物語』と雛祭り

服部比呂美 准教授 専門分野：日本民俗学／子どもの民俗文化

国文学者・民俗学者である折口信夫が「生活の古典」と表現した民俗学は、私たちの何気ない行為の中から、伝承されてきた文化を発見する学問です。三月三日は上巳の節供とも言います。現在ではこの日に雛人形を飾ったり、ひなあられを食べたりしますが、『源氏物語』にはどのようなことが書かれているのでしょうか。また、鳥取県の流し雛や長野県のカナンバレなどの習俗から『源氏物語』の内容と共通する要素を探してみましょう。



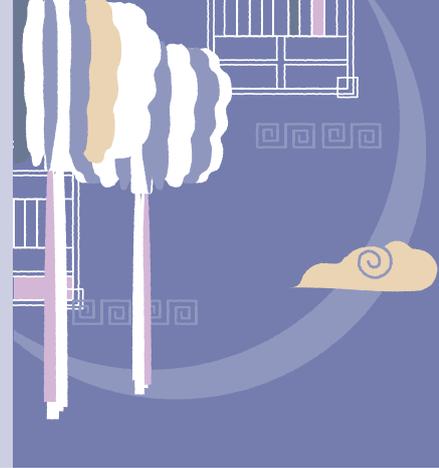
3時限

14:30~16:00

# 中国文学科

中国文学科は、中国古典に関する研究や教育を行うとともに、日本はもちろん世界各国に多大な影響を与える近代・現代の中国文化をもテーマにしなが、世界に通じる広い視野と豊かな人間性を備えた人材の育成を目指しています。文学だけでなく中国語の習得や中国の民俗文化への理解を促すため、複数の留学システムを用意し、学生達に「現地で学ぶ」ことを勧めています。

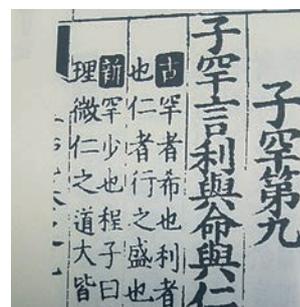
今回の講義では思想書から現代詩まで幅広く取り上げ、中国の芳醇な精神世界を探索します。



## テーマ 孔子は「仁」をどのように語ったのか - 注釈を通して考える -

青木洋司 助教 専門分野：中国思想 / 『尚書』解釈研究

『論語』は、中国のみならず、日本でも、現在に至るまで読み続けられています。『論語』のなかで言及が多いのは、孔子が特に重視した「仁」です。ところが、『論語』には、「子罕(まれ)に利を言ふ、命と、仁と。」とあり、孔子は、利益・天命・仁については軽々しく口にしなかったとあります。この一見矛盾する問題を、標準とされる朱熹の解釈や、江戸期の日本人の解釈を提示し、解説するとともに、一緒に考えてみたいと思います。



1時限

10:30~12:00

## テーマ 『孫子』を読む～注釈者たちの描く「戦」のかたち

長谷川清貴 准教授 専門分野：中国思想 / 主に先秦・漢代思想

春秋時代末期・呉の孫武に関わるとされる『孫子』は、兵書として高く評価されました。三国時代魏の武帝・曹操が『孫子』を深く読み込み、自身の手ですぐれた注を書いたのをはじめ、多くの人物が『孫子』に着目し、注釈を書いています。



ただ、『孫子』の内容は解釈の幅が大きく、注釈によってかなり異なる様相を示します。この時間では、『孫子』本文とあわせていくつかの注釈を読み、相違点から浮かび上がる「注釈者たちの描く「戦」のかたち」を考えます。

2時限

12:50~14:20

## テーマ 中国現代詩を読む～『春水』の翻訳を比較して

牧野格子 准教授 専門分野：中国近現代文学 / 主に謝冰心の文学

『春水』は1923年に出版された謝冰心の詩集です。この詩集で「小詩」と呼ばれるジャンルを確立しました。「小詩」は日本の俳句の影響を受けているとも言われ、伝統的な古典詩の形式から脱却し、平易な言葉で書かれた分かりやすい詩です。中国語の原文を、日本語訳英語訳と対照しながら、解釈してみたいと思います。



3時限

14:30~16:00

# 外国語文化学科

言語を学ばなければ、文化を理解することはできず、文化を知らなければ、言語を使いこなすことはできません。外国語文化学科では、言語と文化を総合的に学ぶことで、日本文化と外国文化の違いや共通性を理解し、異文化と交流しながら、その架け橋となることのできるグローバルな視野を持った人材を育成しています。

今回の講義では人類普遍と考えられがちな「愛」について、多角的に考えてみたいと思います。



## 統一テーマ：愛とは何か、多角的に考える

### テーマ 愛の論理学

**高橋昌一郎 教授** 専門分野：論理学、英米哲学、認知科学／論理的思考方法、情報文化論

「愛」は身近で誰でも知っている概念のように映るが、実際にその意味を明らかにしようとする、さまざまな学問分野からアプローチしても捉えることが難解なテーマである。その「愛」を論理的に分析すると何が見えてくるか、明らかにしたい。

#### 愛の論理学

高橋昌一郎

有田新書

1時限

10:30~12:00

### テーマ アメリカ文学における愛のカタチ

**福井崇史 准教授** 専門分野：19世紀末アメリカ文学、批評理論

西洋では「愛」が文学作品の中心テーマとなることは珍しくない。しかし、例えば今から100年ほど前のアメリカで、文学作品に描き出されたそれは、現代日本に生きる我々が想像する「愛」と近いのか遠いのか？ ここでは幾つかの文学テキストの精読を通して、アメリカ文学における様々な愛のカタチを吟味する。



2時限

12:50~14:20

### テーマ 愛を知らなかった中国

**白井重範 教授** 専門分野：中国語、中国近現代文学／1930年代文学

私たちがイメージする「愛」(= Love)は、西洋的な概念であり、およそ100年前まで、中国には定着していなかった。20世紀中国の知識人が、伝統や因習に背いて「愛」を実現しようと奮闘する様を、いくつかの文学作品を題材に確認したい。



3時限

14:30~16:00

# 史学科

史学科には、「日本史学コース」「外国史学コース」「考古学コース」「地域文化と景観コース」の4つのコースがあり、それぞれの分野で歴史研究の方法を学びながら、現代社会の諸問題を解決する視点を養います。

本学史学科ではどのコースにおいても、自らの手で資料に触れ、自分の足で調査を行う実践的な方法を重視しています。

今回の講義でその一端に触れ、歴史をひもとく醍醐味を味わってみてください。



## テーマ 古墳を発掘する

青木敬 准教授 専門分野：歴史考古学／古墳時代の考古学

毎夏実施している長野県安曇野市穂高古墳群（古墳時代後期）の発掘調査成果から、発掘調査や古墳時代研究の方法や考え方を紹介します。実際に古墳から出土した土器や武器、馬具などの副葬品を受講生のみなさんと観察し、モノ言わぬ土器や鉄製品からこういった情報が導き出せるのか考えてみます。そして本講義を通して、われわれにとって遠い存在である古墳時代人の息吹を身近に感じ取ることができるきっかけとなればと思います。



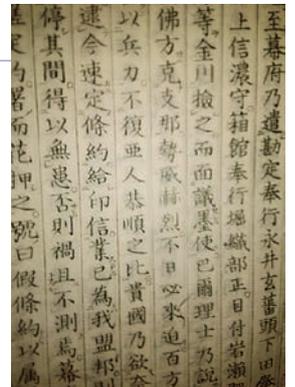
1時限

10：30～12：00

## テーマ こんなにも変わった！明治維新研究

吉岡孝 教授 専門分野：日本近世史／江戸幕府論、幕末史、地域社会史

2018年は明治維新から150年を迎える記念の年でした。長い間日本の近代化の起点であるかのように位置づけられてきた明治維新ですが、近年ようやく多様な視点から考えることが可能になりつつあります。この講義ではこのような動向を念頭において、「なぜ明治維新の中心的存在であった武士身分が、自ら起こしたはずの明治維新によって消えていったのか」という明治維新史最大の謎について考えてみたいと思います。



2時限

12：50～14：20

## テーマ 中国の歴史展開と地理

金子修一 教授 専門分野：中国古代史／皇帝制度に関わる諸問題や東アジア世界

中国には北の黄河と南の長江との二つの大河があります。10世紀、唐代までの中国は黄河流域の洛陽や、その上流の長安を中心に主に歴史が展開しました。しかし20世紀以降は、長江流域の上海やその南の杭州の経済活動が盛んになります。このような中国の北と南の歴史の違いは、北と南の気候風土の違いとも関係しています。本講義では、中国の南北の気候風土と歴史発展との関係について述べてみたいと思います。



登龍門の語の由来となった黄河の龍門

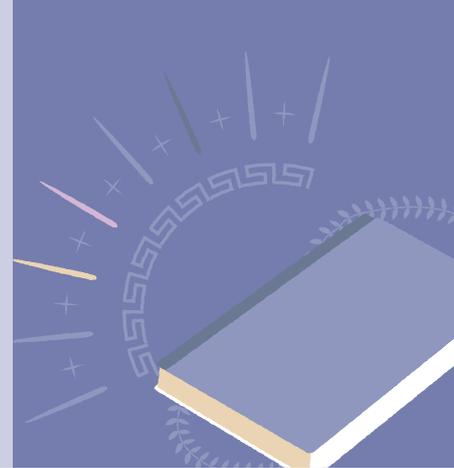
3時限

14：30～16：00

# 哲学科

哲学科は、西洋哲学思想の研究を中心に、インド・中国・日本までをも含めた古今東西の思想や芸術を学ぶことのできる間口の広い学科です。本学の哲学科は、「哲学・倫理学コース」に加えて「美学・芸術学コース」を設置し、さまざまな芸術ジャンルの理論的考察や、美術史研究も行っています。

文学塾では哲学的、美学的観点から考える方法を紹介します。新たな世界を発見するきっかけをつかんでいただければと考えています。



## テーマ 感性化する社会

松谷容作 准教授 専門分野：美学・芸術学／視覚文化論

スマホのロックを外してホーム画面を立ち上げる。とくに気になることはないから、とりあえずSNSのアプリのアイコンをタップして。あ、昨日のコメントにだれか「イイね」してくれてる。ちょっと嬉しい。

現在の社会のなかでなぜ私たちはこのような反応をしてしまうのだろうか。その理由には美学的なものが含まれている。この授業では現代社会の様相を美学という観点から明らかにするとともに、今日において美学を学ぶ意義について理解を深めていく。



1時限

10:30~12:00

## テーマ インド人嘘つかない？ -インド哲学における嘘つきのパラドックス

渡辺俊和 助教 専門分野：インド哲学／仏教認識論・論理学

あるインド人が言った - 私の言うことは全てウソだ。この人が言っていることがホントだとするとウソになるし、ウソだとするとホントになる？この、西洋の哲学者たちを悩ませた「エピメニデスのパラドックス」と呼ばれる文について、古代のインド人も考えた。当該の文をインドの哲人たちは、言語階層説や語用論など現代の言語学とも共通する理論を用いながら、独自の方法で分析している。彼らによることばの精緻な分析が目指す境地、それは〈ことばを越えた世界〉。これってパラドックス？



ディゲナーガとタルマキールティ

2時限

12:50~14:20



昨年度の講義風景

## 文学塾申し込み方法

受付開始：平成31年1月15日(火)より

所定の申し込み用紙に必要事項を記入し、メールまたはFAXで提出してください。複数名分まとめた申し込みも可能です。

### 【申し込み先】

國學院大學文学部資料室（文学塾事務局）宛

E-mail: bun\_siryo@kokugakuin.ac.jp / Fax: 03-5466-4814

- ※メールで送信する場合、件名を「文学塾受講申込」としてください
- ※1講座から申し込みできます（複数講座受講も可）
- ※各講座の定員に達し次第、募集を締め切ります（大学HPでお知らせします）
- ※中学校・高校の先生方の受講も歓迎します
- ※所定の申し込み用紙は、大学ホームページからダウンロードできます

### 個人情報の取り扱いについて

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。

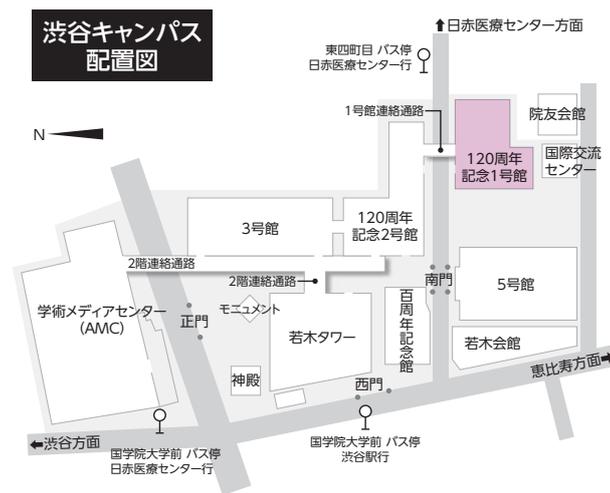
文学塾受講申し込みにあたって、お知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、國學院大學文学部において、文学塾受講に関する管理、連絡および手続き、各種案内とこれに付随する事項を行うために利用するものとします（この利用目的の範囲を超えて使用したり、本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません）。

なお、個人情報の取り扱いの詳細については、大学ホームページをご覧ください。

## 受講にあたっての注意事項

- 当日は國學院大學渋谷キャンパス120周年記念1号館にお越しください [9:45入場開始]
- 教材、資料等は当日配布します
- ノート、筆記用具を持参してください
- 連続して受講する場合、昼食は各自でご持参いただくか学食をご利用ください

## キャンパス案内



- 渋谷駅（JR山手線・地下鉄・京王井の頭線・東急各線）から徒歩約13分
- 渋谷駅JR新南口から徒歩約10分
- 都営バス（渋谷駅東口54番のりば）学03日赤医療センター前行「国学院大学前」下車（運賃180円・IC175円）

お問い合わせ先 國學院大學文学部資料室

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 TEL.03 (5466) 4813

E-mail: bun\_siryo@kokugakuin.ac.jp

